

(問3)

現在、特に力を入れている活動分野を以下から一つ選んでください。どうしても一つに絞れないという場合は、「⑳その他」に、該当すると思われる領域の番号をご記入下さい。

⑳ その他

- ・犯罪被害者支援
- ・不登校、ひきこもり自立支援
- ・特になし
- ・間伐
- ・産業教育
- ・就労者の就労、社会参加
- ・障害者の職業訓練、就労支援
- ・中国との友好交流活動

(問14)

(1)これまでに、十分な活動資金を確保するために何か手だてを講じてきましたか。

5 その他

- ・寄付金付自販機設置拡大を図ったetc
- ・自分が体を使う地道な活動
- ・障害福祉サービス事業利用者の工賃を支払うための事業拡大に力を入れた
- ・セミナー等を開催し、セミナー費を徴収した
- ・地場産品等の販売
- ・共同募金の配分を受けた
- ・経費節減

(問16)

問15で効果があった(ある)理由、又は効果がない理由を教えてください(自由記述)。

(効果あり)

- ・理解者が増えたから(効果あり)
- ・企画に賛同してくれた会社から寄付金が集まり継続して事業が出来た(効果あり)
- ・②は申請して少し受給し、研修費等に活用でき、⑤は自身は大変だが地道な活動が認められ寄付や活動を表彰された(効果あり)
- ・受益者負担に満足していただける活動内容であること(効果あり)
- ・この14年間社会状況が厳しくなったにもかかわらず、会員数を維持できているのは努力の成果だと思う。また、他団体企業からの寄付金や寄附つき企画の提案をいただき寄付金が集まっている。(効果あり)
- ・サービスの質を良くすることで利用者の増加、安定(効果あり)
- ・特定の事業に関して目的に沿う形での事業が遂行できるとともに趣旨も明確にできる(効果あり)
- ・委託に係る事業増(効果あり)
- ・土地ならではの農産物の栽培、販売にしぼり効果があったと思う
- ・活動が認められつつある(効果あり)
- ・必要性が社会的に高い事業だったので(効果あり)
- ・収益が増える事で人員を増にできる。人員が増になることで事業規模を大きくできる。(効果あり)
- ・クッキーの製造販売、廃棄銅線のリサイクル事業拡大を行い独自事業収入の拡大に努めている。そこでの収益増が障害者の給料アップにつながっている。(効果あり)

- ・有償による出張理美容は収益が良く支出が少なかったため運営が効果的であった(効果あり)
- ・目的に対する申請理由を具体的に、その必要性和効果を記した事で認められた活動だったので結果が良かった。(効果あり)
- ・年々赤字額は減ってきている(効果あり)
- ・活動地域が山村部の為地域の住民が協力してくれている(効果あり)
- ・利益の出るように集客人数を設定して、想定通りの集客が出来たので(効果あり)
- ・補助制度を活用し、新規事業を導入するための施設を建設した。結果、利用者の増加、収入の増につながった。(効果あり)
- ・25年度から始まる、梶原町の高齢者対象の配食事業参加(効果あり)
- ・町の委託でシンポジウムの企画、運営等を数年続けていて、事務所移転、指定管理の順番で委託されるようになった。(効果あり)
- ・少しずつではあるが、各市町村役場の中で回覧を回して集めていただいたり、沿線の行政単位で協力してくれるところが増えつつある(効果あり)
- ・町営キャンプ場の管理で安定した収入があった
- ・四十十街道ひなまつりの運営に行政からの資金協力(予算化)が得られた(効果あり)
- ・経費の削減(効果あり)
- ・活動をするには、資金が必要であるが、当事業所の活動目的である障害者の就労支援を行う場の確保と事業収入の拡大については同じであるので比較的効果が出やすいと思われる(効果あり)
- ・香南市より年額一定の業務委託料を受けている共同募金により業務に必要な設備を購入出来た
- ・会員の増加による会費収入の増加につながった
- ・活動の幅が増えた
- ・収入が少いなか、立ちあげの費用の一部を助成していただいて助かった。
- ・申請には労力がかかるが、短期でまとまった資金を取得出来る。
- ・助成金のおかげで大きな講演会等も開催することができ、当法人の認知度も高くなり、会員増加につながった。
- ・社会的な信用がふえ、会員への教育力もあがり一定の質が確保できる良い循環となった
- ・具体的な事業への助成金であり、事業を実施することができた
- ・初めてなので助成を受けられて良かった。
- ・④会費収入については定期的に講演会を開くことでNPOのことを知ってもらい賛同してもらえる人をふやしたので少しではあるが増えている②補助金などに各関係機関にこまめに足をはこび情報を得て申請できるものはしている①寄付金についてはまだまだ認知度が低く企業などに理解されにくい
- ・今年度は一定の周知が大口の寄付金へ結びついた 4件あった(効果があった)
- ・目的を達成するための助成金や補助金を申請して、通った場合は、その事業ができ効果(ボランティア自身の活動の励みになるし、地域貢献にもなる)ある。通らなかった場合は、事業計画がなくなるので効果なし。バザー収入によりなんとか支出をくり出している。(自主財源)
- ・単発で行う時には助成金をもらえる時が多い
- ・県道の除草委託事業を受けて、地域住民の参加も得て行っているかNPO法人の会員より、その収入の一部等を寄付を頂いてる。
- ・必要物品(地デジ対応テレビ寄付)(トイレ手すり、経費助成寄付)

(効果なし)

- ・経済の冷え込みから事業所からの退会申出もあり、加入者と退会者として+-0に近い状態となっている(効果なし)

- ・申請したが通らなかった(効果なし)
- ・寄付金集めのアイデアを実行に移せていないので早急な対応が必須。しかし、事業実施等におわれそこへのマンパワーがなかなか注力しきれていない現状。(効果なし)
- ・制度の変化(補助金等)(効果なし)
- ・会員拡大が出来ず、活動の手詰まり感があつた(効果なかつた)
- ・寄付をいただいた企業・個人へはフォローアップをし、継続していただけるよう努め、新規開拓にも力を入れた。会員拡大は寄付より拘束されることからなかなか伸びない
- ・会員は高齢者のため、体調不良や病気治療など事情から定着せず、入替りが激しいため
- ・効果があつた年と、なかつた年がある。自主コンサート(演奏会)において、他団体とのコラボを中心とした企画ステージの内容により効果があつたが、近年は申請はするもの効果がない、企画内容に偏りがあるためかと考える。
- ・独自事業収入は嵩が知れている
- ・会員が高齢化し新会員が入っても脱会者が増加するので効果は出ないが少しで新会員の増に努力している
- ・日本全体が緊縮状態か？

(その他)

- ・家庭系ごみ収集業務の円滑な運営
- ・トマト商品の開発や販路を拡大したため。
- ・助成金を申請することにより多くの方に参加してもらいやすい金額でイベント開催が可
- ・特に理由はないが、申請する事で事業への理解を得る
- ・始めたばかりにつき、今後検証予定
- ・活動が不十分であるため、集まってくれる人数に限られている、いろんな活動をしていきたい

(問19)

(1)活動又は事業に主体的・積極的に参画してくれる人の数を増やす手だてを何か講じていますか。(複数回答可)

6 その他

- ・インターネット・通信配布など
- ・利用者、会員、学生への呼びかけ
- ・ガイド養成講座開講を高知市に要請
- ・専門的事業から一般的へと拡大しようとしている
- ・取り組んでいる事業により徐々に増えてはいる
- ・村から都会へ出ている人々からの協力支援
- ・関係機関との連携
- ・HP、広報(行政等)、新聞
- ・HP,ステラだより(2ヵ月に1回)
- ・毎月地域広報に広告
- ・新聞に募集
- ・ボランティアフェスティバルで公募、近隣にポスター、ピッピネット
- ・特になし
- ・ツイッターなどによるよびかけ

(問22)

(2)活動をPRする情報発信の主な手段を3つまでお書きください。(自由記述)

- ・ホームページ
- ・①TV・ラジオ等の利用 ②機関誌・リーフレット等の作成配布 ③講演会等の開催
- ・新聞・ラジオ・インターネット
- ・イベントでパンフレット配布・他のNPOへのPR・新聞への投稿
- ・情報発信に使用できる資金がない
- ・①イベント・研修会等のポスター ②日ごろの活動 ③イベントへの参加
- ・新聞取材・会員同士のロコミ
- ・新聞折込での募集・ポスター・市広報紙
- ・①高知市活動サポートセンターの「わいわいくじら」 ②活動報告の充実に力を入れている
- ・ニュースレター、HP(ブログ、FB含)、チラシ
- ・メンバー多忙により特に行っていない
- ・HP、新聞、行政のHP
- ・フライヤー・ソーシャルメディア・マスコミ
- ・HPの活用、行政へのアピール
- ・HP・ペーパー・情報ポータルサイト 行政の取り組みが不十分。民間、NPOと連携する気もないので情報発信がないに等しい。
- ・文書を郵送し活動をPR、会員による活動説明(口頭で)
- ・季刊誌の発行
- ・くちこみ、関係者への定期訪問、メディアの掲載
- ・HP・会報・直販
- ・団体催事、催事プログラムへの広告、新聞広告
- ・広報・チラシ
- ・他の活動と協働、チラシ、HP
- ・県・市・指定管理者のホームページでの紹介
- ・広報誌
- ・①施設見学、実習生の積極的受入 ②マスコミへの訴え ③賛助会員拡大
- ・広報紙・HP
- ・市町村の広報紙に活動を紹介してもらいたい
- ・公報の利用、HP、街頭宣伝
- ・HPのみ
- ・公報、パンフレット、会員ロコミ
- ・会員向け会報、一般向けポスターなど
- ・ブログによる発信
- ・利用関係者、同業他社、行政
- ・広報誌

- ・行政機関の広報誌、マスメディア、公共交通機関への協働
- ・HP、フェイスブック、チラシ
- ・広報折込、行政生涯教育よりPR、口コミ
- ・口コミ、チラシ
- ・月間行事予定表の町内掲示板取付、町内文化祭・敬老会への参加
- ・ごみの収集については行政により啓発を行っている
- ・チラシ配布、ホームページ、会員の口述
- ・広報誌
- ・インターネット・新聞・パンフ
- ・講演会参加、ホームページ・ブログでの情報発信
- ・IN・NPOのネットワーク・行政支援
- ・ホームページ・ブログ・パンフレット
- ・ラジオでの広報
- ・ホームページ・チラシ・放送
- ・1ホームページ2チラシ・広報3イベント等への参加
- ・1高知県ボランティアNPOセンター2包括3健康づくり課
- ・HP、新聞伝言板、チラシ
- ・ホームページ・情報雑誌掲載・インターネット情報サイトへ掲載
- ・パンフレット配布・会報発行・マーク等普及
- ・特になし
- ・ホームページの充実・ネットワークの充実・県との話し合い
- ・会報発行・サロン
- ・会報をボランティアセンターなどにおいてもらう、ホームページ
- ・その地域に入るには、見ず知らずの者がいきなり行くより、行政の人が間に入って最初からいっしょに入ってもらえることで住民の信頼も得やすかった
- ・チラシ・ピピネット・口コミ
- ・特にPRする必要なし
- ・PC・広報
- ・ちらしの配布、口コミ、公報紙の活用
- ・各町内会・各民生委員の方を通じて会員募集のお願い・子育て支援に関わる会議等でのPR(チラシ)
- ・ゆうハート通信年4回発行・研修会等で活動報告・見学及び実習生の受け入れ等
- ・新聞・チラシ
- ・当協会発行のニュース(月1回程度)・本部新聞「日本と中国」
- ・会報・ブログ
- ・会報でフリーペーパー、HP、ラジオ
- ・チラシ、報告書の配布、研修講師の受託
- ・講演会の開催・ホームページによる情報公開
- ・町内放送や広報紙

(問25)

(4)(1)で「センターを(あまり)利用していない」と答えられた方のみお答えください。それはどうしてですか。(複数回答可)

6 その他

- ・忙しく十分活用できない
- ・開催場所の距離が遠い
- ・当法人は県東部にあり市内まで行けない
- ・有償運送を中心に行うため
- ・業務上、人員体制が整わなく利用する時間がない
- ・センターの存在を知ったばかりですので、今後利用していきたいと思います。

(5)センターが現在提供している支援やサービス以外に、どのような支援をセンターに期待しますか。

- ・地域別での開催
- ・未検討のため回答保留
- ・行政窓口担当者への「NPOの社会的役割や意義とは」「協働の仕方」等研修等をもっと定期的なものマストとして実施してほしい。
- ・まだセンターがどんな活動をしどのような支援をしているかさっぱりわかっていない。すみません。
- ・法改正時に必要な情報提供とセミナー
- ・同行活動、段階確認
- ・瀬戸内海への離島支援活動をしているが理解されず県外との連携がとれないため、四国連携ネットワークを推進してほしい。
- ・事業基盤や事業拡充する支援や援助(軍資金)につながるアドバイスや寄付金に係る課税免除等を今後期待
- ・今でも大変役にやっています
- ・事前予約の専門家相談会
- ・パソコン指導、ボランティア(無報酬)スタッフ斡旋
- ・現状でのサービスでよいと思う
- ・活動や運営についての高度なアドバイスがほしい
- ・高知県の予算計上している助成事業が補助事業の情報があると有難い。又民間寄付をお願いすることの指導や支援があると有難い。
- ・場所の提供・広報
- ・情報を頂きながら私共が十分に活用出来てないと思います。すみません
- ・別に考えつかない、現状では。

(問27)

⇒(4)効果があった理由又はなかった理由を自由にお書きください。

(効果があった)

- ・県から市町村への通報、周知徹底etc(非常に効果あり)
- ・補助金によって活動しやすくなったから(非常に効果あり)
- ・目的が達成できたから(非常に効果あり)
- ・お互いの活動にプラス(ある程度効果あり)
- ・行政のトップが福祉に対する理解をしようしないので何とか知ってほしいと思いフォーラムに登壇してもらおう計画をした。ギリギリまで出ないと言っていたが何とか出ていただけたこと。(ある程度効果あり)
- ・お互いの業務、役割、意義等について理解が深まったと思う(ある程度効果あり)
- ・行政は常に民間事業をコントロールしたがる。支援を受けると余計な制約が出来る。(ある程度効果あり)
- ・特に初期の活動資金を得られたこと、支援を受けられたことの恩恵は大(ある程度効果あり)
- ・名称や活動内容の広報に効果があった(ある程度効果あり)
- ・行政に少しだけ理解してもらえた(ある程度効果あり)
- ・観光ガイド団体と交流の機会が出来たこと(ある程度効果あり)
- ・クッキー製造販売についてのアドバイス(非常に効果あり)
- ・対外的に県との共同事業は信用性が高い(非常に効果あり)
- ・10年間の活動で無名なNPOが良く社会(=行政)で知られるようになった(非常に効果あり)
- ・委託料が活動を支えてくれたこと、行政の窓口とコミュニケーションが取りやすいこと(ある程度効果あり)
- ・佐川町からの委託事業により、佐川町健康福祉センター「かわせみ」内で、喫茶コーナーの運営を通して事業所のことや利用者(障害者)の理解が進んだと思っている。(ある程度効果あり)
- ・ITコーディネーターとして実戦経験を積むことができた(ある程度効果あり)
- ・現施設を市から無償貸与してもらったことで新規事業が導入できた(ある程度効果あり)
 - ・町から自動車2台無償貸与(非常に効果あり)
- ・民間でも行政でも関われない事業等、声をかけてくれ出した(非常に効果あり)
- ・NPOと行政の協働が実現した(非常に効果あり)
- ・安全安心な環境整備が充実しつつあり、活動に積極的に取り組むことができる
- ・ミッションを達成するためにはいろいろな事業を展開していかなければならないそのためにも行政との関わりは大変重要で(資金面や情報力)また効果があがるよう努力してきた
- ・行政からの助成金と会員の会費により運営されている
- ・行政のイベント等に積極的に参加し、住民サービスの向上を図った
- ・指定管理を受けたおかげで職員の給料が安定している
- ・活動目的の理解が深まった。
- ・別途社会福祉法人へ発展した
- ・一般の人に対し事業に対する信頼度が向上する
- ・自分たちの活動が行政に理解してもらえた事、地域にアピールできたことは効果があった。
- ・活動が活性化し社会的に問題の解決に向けて協働が進んだ

- ・会員の意欲の向上
- ・活動に対して協力や助言をいただいている
- ・体操のアフターケア等をうけている
- ・良い職員と仕事出来るか運だめしです
- ・圧倒的な資金源となる
- ・以前は患者会が高知県からの委託を受けてがん相談センターを運営していたが他に患者があるのに一喜会だけに委託はまずいと言うことになり一般社団法人に委託がうつった
- ・実行したい事業を実施できた・資金ができたことにより・次の事業をひろげて考えることができた
- ・福祉の増進。行政の専門スタッフによるセミナー開催の場提供により身近で気軽に日頃の悩み解消のきっかけづくりができたと思う。
- ・援助会員必須研修に各講師を派遣いただき会員登録につなぐ事ができました。
- ・受託した事で部屋を確保出来活動を拠点となった

(効果がなかった)

- ・行政が協力しようとする気が無い。民間NPOの視点のない行政活動では事態に変化はない。(効果なし)
- ・行政の関わりが中途半端であるし、課の編成がすぐ変わって課自体がなくなった(あまり効果なし)
- ・実現に至ってない！
- ・まだ関ったことない
- ・参加者が少ない

(問27)

⇒(5)行政との関わりによって、あなた方の活動に対する行政の理解は進んだと思いますか。		
1 非常に進んだ	<table border="1"><tr><td>7</td></tr></table>	7
7		
2 ある程度進んだ	<table border="1"><tr><td>48</td></tr></table>	48
48		

} →理解が進んだ点を具体的に教えてください。

- ・発足当初より県との協働機会が増加、また、密度も濃くなった
- ・「親の会」例会に行政職員が参加して交流できた
- ・行政の民間に対する立ち位置、目線を知ることができた
- ・委託事業の増加
- ・障害者就労の場の提供
- ・担当者と色々話ができる
- ・一進一退、現在は有機農業に力を入れていない
- ・県下の行政関係では認知されている
- ・毎月の活動報告書である程度把握してもらえる
- ・交流や相談の場は増えた
- ・企業がITを活用する必要性を理解いただいた
- ・経営の安定化に向けた取組みへの理解
- ・新会員の行政から紹介が増えた
- ・行政との連絡を密にし、より効果的なごみ収集を行っている
- ・地域の人から行政の人に話がいった
- ・活動に参加してもらった。
- ・事業委託が多くなっている
- ・地域交流活動の継続性がない。継続できない(イベントの変更や経済的なこと)理由によると思うがわからない。
- ・国・県の要望活動を一回実施した状況で放置されている。
- ・NPOの強み(手に届きにくい人への支援)に対しての理解
- ・意見を言いやすくなった
- ・当法人からの要望などについても可能な限り善処して下さる
- ・体操を通じてコミュニティができた行政から見学等も有り。
- ・担当が変わればゼロとなる
- ・まだ関わってない
- ・他の地域の問題点
- ・行政の裁量
- ・1人で悩まず情報交換できたと思う
- ・事業受託時に相談説明した

(問27)

3 あまり進んでいない	11	} → 理解が進まなかった点を具体的に教えてください。
4 全く進んでいない。	3	

- ・一定の時機を過ぎると移動するので次のステップへ行けない、また1からのスタートとなるから
- ・フォーラムに出てもらうために少し勉強してもらえたが、当日のコーディネートの質問をはぐらかしてはっきり示さなかった
- ・一時より、地方行政の官僚化がより進んだ
- ・行政が協力しようとする気が無い。民間NPOの視点のない行政活動では事態に変化はない。
- ・行政職員が会員にいるため

(問28)

貴団体におけるあなた(回答者)の立場はどのようなものですか。	
1,2以外	33

- 具体的に:
- | | |
|----------------------|-----|
| 副理事長 | 2団体 |
| 館長兼理事 | 1団体 |
| 専務理事 | 1団体 |
| 事務局長 代理 | 1団体 |
| 理事 | 1団体 |
| 総務部理事 | 1団体 |
| チーフ | 1団体 |
| 団体職員 | 1団体 |
| 事務員 | 6団体 |
| 事務担当者 | 1団体 |
| 事務局員 | 7団体 |
| スタッフ | 1団体 |
| 管理者 | 1団体 |
| 代理 | 1団体 |
| 講師 | 1団体 |
| 副団長 | 1団体 |
| アドバイザー | 1団体 |
| 法人が運営する事業所のサービス管理責任者 | 1団体 |

(問30)

NPO活動を今後発展させるために、何が重要か、ご意見がありましたら教えてください。

- ・積極的なPR活動とNPOからの積極的な声掛け(うもれた団体さんに)
 - ・①独自事業に対して行政も支援してほしい(紹介など)
 - ②補助金の確保(せめて3年間は見通しを持たないと不安)
 - ③意見交換などの場を多くしたい(協働の為にも)
- ・私達の団体は皆それぞれすきなようにしているので協力をあまりもとめていない
- ・当団体は体力勝負の所があり歳を重ねるとトーンダウンし活動にも力が入らず年1回がせいぜい。
若い力を入れて頑張ろうとは思っているが、新しい企画には寄付金集めもしなくてはならず頭の痛いところ。
他のNPOとの連携も視野に入れ活動しようと思っている。
- ・行政の言う「公平性」とか「前例がないので」とか「助成金を獲得してもなくなってから継続できるのか？」
というので逃げ道を作ってほしくない。助成も新しい活動に対しては出るものが多く今までやってきたこと
のない活動を助成後どう継続できるか信用性に欠ける」と町の時点でストップされどうにもならない。行政
がやることも住民から見ると決して公平には見えない事が多いのに。行政ももっと勉強すべきだし、住民も
行政を変えるだけの力を付けてほしい。
- ・NPOのリーダーが重要で、運営にはあまり発言せず財源を企業等の協力を得て確保に努めること。
運営は地域の人々の努力で活動するようにする。行政に頼らない風土を作ること。
- ・支援制度等は年々充実していると思います。ただ、期間が1年長くて3年というのがほとんどで、5年10年といった
長期スパンのものが残念。継続性のある支援形態を考えてみて欲しい。
- ・民間は実質の効果を求める。行政は書類が整うことを成果とする。書類を整えて無事事業が終了し、議会報告が済む
ことを第一とする行政の考え方を根本から見直さないと協働はありえない。公務員制度改革の一層の進展を望む。無事
は名馬は民間ではありえない。ケガをしても成果を残さなければ無意味。
- ・事業型NPOは活動の資金も稼ぎつつ社会貢献活動を行っていきたいのであるが、委託や補助の場合その部分の理
解不足で資金 を上手に活用するために収益性を高めた事業にしてい事が難しい現状も否めない。社会的にもっと
NPOが本来事業の為に収益性 を高めていく必要があると一般的な認識が広がるのが望ましい。
- ・NPO活動＝すべてがボランティア(無償)で活動していると思われていることを払拭したい
- ・行政(県や市の職員)の意識改善が必要。NPO側をいくら教育しても行政がNPOをなめてかかっているとミッション達成
はなりません。「市民活動＝ボランティア＝タダ」の意識もはびこっており(特に子育て支援事業)、十分な教育が必要。
- ・一般社団もNPO的な団体として支援のゆるい枠に入れていく事は必要だと思う。
- ・参加者・支援者をいかに増やしていくか
- ・当活動についても竹の間伐を行いたいと思っています。その動員する人々に支払うお金の確保がしたい。竹の加工な
どいろいろな手立てができるまで支援してもらいたい。
- ・後継者不足をいかに克服するかにかかっている
道州制が始まることによる、四国・情報・中国・四国・ネットワークの必要性
ネットワークをつくるには国からの安定した支援・資金の確保
分野別の指導担当を配置する必要性(大学の連携を含)
中国・四国交流の必要性 ※縦割行政から横のネットワークづくりの必要性
- ・事務作業が煩雑なことが多いために、事務経験者のサポートがあればもっと活動しやすいのではないかと思います。
(ボランティアの人では補えない、パソコンや経理など専門的な実務をやってもらえる人がいない)
- ・NPOに対する融資制度の創設、拡大
- ・有償運送対象人口750人、高齢化率55%現在登録運転者21名(70才までとする) 近い将来運転者の確保が心配
です。

・私たちの場合はもっと地域を巻き込むこと。
民間、行政含めて次世代の若い人たちと交流し、活動に関わっていただくことが課題です。

・育成のため職員の配置が必要

・法律の改正(福祉分野)

・原点に戻って組織運営の強化が必要

・中高年でパソコン操作が初心又は初級程度の人達に、中高年無給ボランティアが助成金の範囲で時間制限内で自由時間交代で指導に当たっている。地域住民中、ITの恩恵に浴していない人が多いので更に存在感を高めたい

「和みの手当て法」というふれあいワークショップ講座をしています。ボランティア育成も兼ねています。今社会から求められている活動だと自負していますが、専門的な知識が全くないので相談に乗ってくれる機関があれば心強いです。

・当法人は事業費のほとんどを行政の委託金で運営しているため他のNPO法人の運営と若干異なるためアンケートが不十分かも知れません。

・中心になって活動している人の給料を安定させる。スポーツ、文化ともに講師の謝金が高い。NPOに理解を持ってもらい、講師達にボランティアで行ってもらえるようなシステムを作してほしい。

・福祉系NPOなので、現事業のみで活動にとどまっている。
・もっと色々な他の活動と連携したいと思っているが・・・。

・地域での活動は、子どもから・障害者・高齢者を対象になって来るが行政はたてわりなので総合的な相談部所がない。(NPO)=(ボランティア)ではない点も理解者を増して行けたらいいと思います。

・行政側からNPOに関連する委託等の事業が(情報)提供されれば委託事業等にかかわる関心が強まると思います。

・各団体共、資金集めに苦労している、行政・NPOセンターなどが中心になり一般の方や企業に対しNPO活動の意義や寄付への取り組みをPRしてほしい。

・同じ思いをもったボランティア間での格差(意識)をなくす努力を継続的にしていかなければならない。そのためにも地域への貢献度がボランティア自身に体感できるような企画を計画する必要がある。また活動資金の調達に力を入れなければと考えます。子どもの健やかな成長発達と地域で生活することの重要性を地域福祉の観点から促進してもらいたいと思う。

・活動資金の徴達軽減対策(税対策など)や国県市町村のNPO支援事業の拡大によりNPOの活動が取り組みやすくなると有難い！！NPO法人への信頼度について市町村に濃淡がある！例えば公民館(公共施設の利用されてない場所や部屋)などの一角を事務所に活用させて頂けるなど支援頂けるとありがたい！

・市民と行政をつないで住みやすい社会を作ることネットワークの構築

・広報を進め、皆にわかってもらう、特に必要な人に必ず伝わるようにする。

・行政のバックアップせめて融資に関する制度の整備をして欲しい

・実施しようと考えてる事業について、理解のある行政職員がいると、スムーズに事業を行うことができ、また継続性がある。知識はなくても関心を持っていたければと思う。

・補助金の増額

・NPO活動とは何かその趣旨はなど、広く深く(特定の者だけが知っているのではなく)浸透させるような行政活動を期待します。現状は聞いたことがある程度の方がほとんどのように感じています。

・団体の具体的活動をいかに発信出来るかについて知りたいです

・特にありません

・思いだけでは、人はボランティアで動いてくれません。どんなに理想をかかげても、それぞれの都合があり、忙しい中なんとか時間を作って協力しあおう、という合意形成に至るまでの過程を今は一番大切にしたいと思っています。1人ががんばりでは周りがついてこない。そのために日々勉強です

・常設事務局を雇用出来るかどうかで活動の範囲や質が大きく異なって来ます。この点で何か制度があればいいと思います。

・始めたばかりで多種多様な取り組みを試みたいと考えていますが、私が3月に定年退職をしたばかりで、今まで非常に忙しかつたので出来ませんでした。又、6月の町議選に立候補する予定で動いており、このアンケートも2週間以上遅くなりまして。申し訳ございません。